

誰一人として犠牲にならない津波防災



山形県酒田市

「飛島の全景」

酒田市の取り組み

- ① 飛島津波避難の広報映像
- ② 民間施設を活用した津波避難ビルの24時間対応化
- ③ 放置漁船の処理事業

酒田市について

- 人口
99,022人
(令和3年9月末時点)
- 山形県唯一の
重要港湾・国際貿易港
- 名所など
山居倉庫
ドラマ「おしん」の撮影地

飛島について

- 人口
174人
(令和3年9月末時点)
- 酒田港の北西約39キロ
- 交通手段
フェリー定期便
(片道約75分)
(1日1往復～3往復)



約 2. 5 k m



飛島

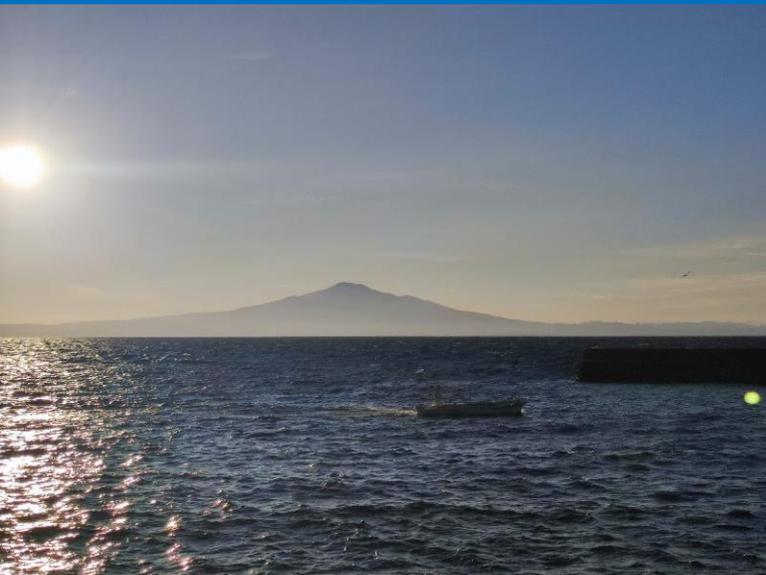
海岸線周囲約 1 0 k m

皇居一帯を 1 ~ 2 周り
大きくした程度

約 3. 0 k m



飛島＝島全体が国定公園！！



綺麗な海
朝日・夕日
鳥・花・釣り



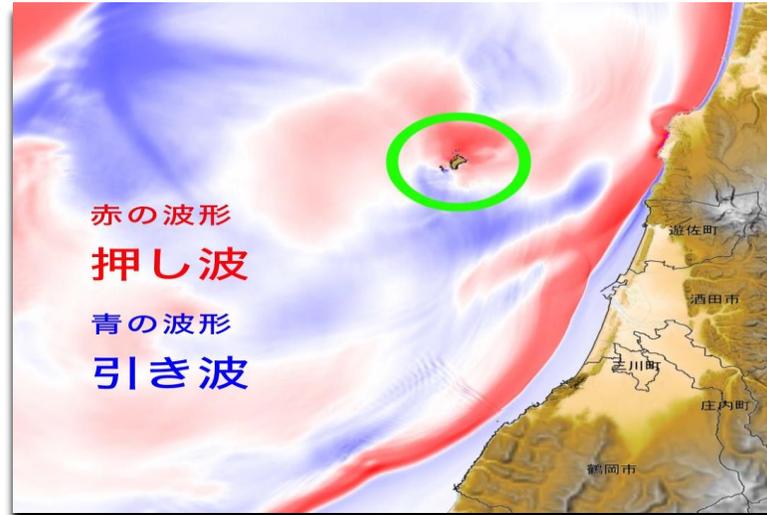
① 飛島津波避難広報映像について

飛島津波避難広報映像作成の経緯

専門家協力のもと、飛島地区津波避難対策計画を策定。
計画に基づいた津波避難対策に取り組む。



現地調査



来襲予測



ヒアリング

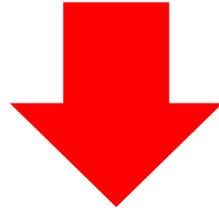
そうした中での疑問・・・
飛島にいる全員を守ることができる？
旅行者や工事関係者は守れる？

旅行者らのリスクが高い理由

地理に
詳しくない

避難経路を
把握して
いない

居場所を
点々とする



津波被害リスク高い

どのようにして旅行者や工事関係者を守るのか？

飛島の津波は、**数分**で来襲する。

(早いところで**2分**!!)



いざという時には、**旅行者自身の行動**がなければ、
被災する可能性が高い。



事前の広報（周知）が重要

どのように事前広報するか？

旅行者らに必ず目にしてもらうには？



フェリー内とフェリー待合室の
大画面テレビ

※飛行機の機内安全ビデオをイメージ



事前に広報し、周知する！
映像で分かりやすく伝える！

※映像は、多くの人から見てもらえるように、YouTubeでも配信予定。

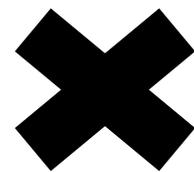


恐怖心を抱く映像は、
旅行者は最後まで見てくれないかもしれない・・・



津波避難を効果的に伝える！
飛島の魅力を伝える！
両立できないか？

防災啓発



観光映像

※イベント当日は、約3分の映像（ダイジェスト版）が流れます。
※この画面はオープニング映像などの一部切り取りです。



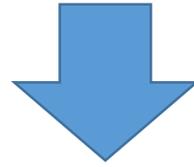
TOBISHIMA island

津波から生き延びるために

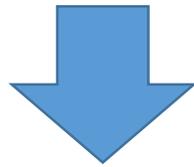


リーフレットなど

映像とリンクする内容の**リーフレット**を作成中



動画と併せて、**より理解が進む**ように。
→大切な情報は、クイズ形式して楽しみながら防災を学ぶ工夫



いざというときに、**命を守れる**ように！！



② 民間施設を活用した津波避難ビルの
24時間避難可能な体制の整備



本市の津波避難ビル

■ 整備年度

平成24年度～順次整備

■ 協定締結企業

10事業所

※浸水想定区域内のA地区（住宅街）に立地する津波避難ビルは5施設。うち、24時間避難可能な施設は2施設のみ。

調整に動き出した背景

■ 山形県沖地震（最大震度6強）

令和元年6月18日22時22分発生

- 24時間避難可能なホテルへ避難者が殺到
- 一時的な避難場所としての認識の欠落
- その他、受け入れ対応に苦慮

A地区



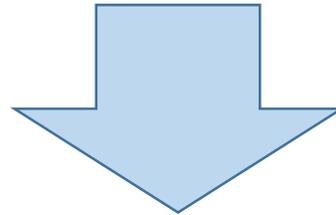
--- → 浸水想定区域
■ → 津波避難ビル

調整の経過

自治会



酒田市



津波避難ビル

【各社ごとと個別の問題】

- 受け入れのスキーム
(開錠方法・避難者への対応方法)
- セキュリティシステム
- 個人情報の管理
- 社員の出勤
- **本社の承諾** など

整理したポイント

- 営業時間外に避難する方法の確立
(電子錠の設置、暗証番号の共有範囲など)
- 各津波避難ビルごとに連絡員（災害時に派遣する市職員）を指名
- 避難対象とする災害を津波、突発的な豪雨に限定
- 避難スペースの指定
- 各自治会ごとの避難先（津波避難ビル）の整理（区域整理） など



電子錠取り付けにかかる施設の現地確認
(津波避難ビル・警備会社・地元自治会・酒田市)



関係自治会長との区域整理に関する協議
(関係自治会・酒田市)

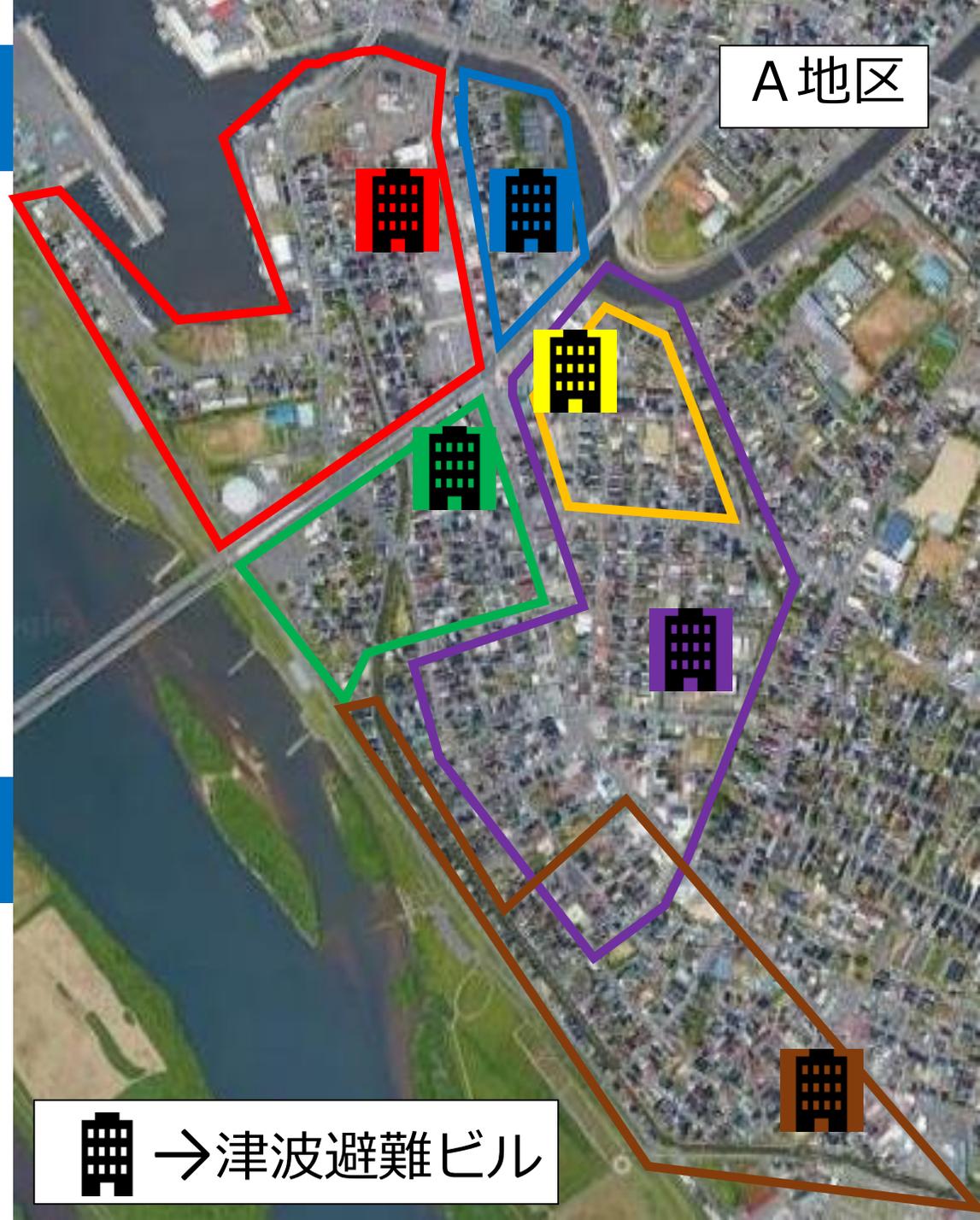
夜間等の避難方法

- 避難する際の連絡
市→津波避難ビル管理者→警備会社
 - 電子錠の暗証番号共有範囲（一例）
津波避難ビル関係者
地元自治会長
酒田市危機管理課・連絡員
- ※最も早く到着した人が開錠



区域整理

特定の津波避難ビルへの一極集中を回避し、避難者を分散させるために、関係自治会長と協議し、右図のように各区域ごとに避難する津波避難ビルを整理した。



A地区



→津波避難ビル

③

放置漁船処理事業

経緯

- 平成29年に飛島の住民から、漁港の放置漁船について相談が寄せられた。



- 市の調査で、放置漁船が、89隻あることが判明！！
(令和29年度時点)



- 放置漁船は、津波をはじめ、台風等による破片の飛散や避難の妨げになるおそれがあり、被災する可能性が高まる。



- 協議会で、所有者負担や処理方法を協議。



処理状況

- 昨年度までに、29隻を処理済み。
- 今年度も、70隻程度を処理予定。





ご清聴ありがとうございました。

山形県酒田市

秋の山居倉庫と櫟